



ロボット  
分野

## 水上での離着水及び航行が可能な長距離運用無人航空機システムの開発

河川や湖、海等で安全な水上での離着水を行える固定翼型のドローンと、その高い飛行性能（長距離、長時間、高速）を最大限に活かし運用が可能な地上局をはじめとする無人航空機システムの開発を行う

現状  
背景

- 日本再興戦略2016の中で、AI・ロボットといった高度技術を活用した第4次産業革命の実現が謳われており、「ドローンの産業利用の実現」、「次世代ロボットの利活用の実現」が具体的な取組方針として位置付けられている
- 経産省が掲げる小型無人機による「空の産業革命」に向けたロードマップによると、無人地帯での目視外飛行（レベル3）や有人地帯（第三者上空）での目視外飛行（レベル4）が目指されており、小型無人機の社会実装が進められている

開発  
目標

- 水上離発着が可能な航空機と運用システムを設計・開発し、実証を重ねることで運用ノウハウを蓄積させる

先進性

- マルチコプター型の競合製品と比べると、航続距離が長く、遠隔（数十km範囲）の物体等を探知できる
- 同型である固定翼機との比較では離発着を水上で行える点で優位である。障害物等が少ない水面で離発着が可能であり、安全性のリスクが低減する

事業化  
目標

- 2021年度の販売を目標としており、顧客の実証への協力等、ドローンを用いたサービスを提案していく

事業者  
概要

《事業者名》株式会社スペースエンターテインメントラボラトリー《事業内容》航空宇宙技術をコアとしたシステム開発とソリューションの提供を行う  
《創業》2014年7月 《住所》福島県南相馬市原町区萱浜字巣掛場45-245 南相馬市産業創造センターB棟区画1  
《HP》<http://www.selab.jp/> 《問合せ先》0244-26-6208



水上離着水が可能で防水性能に優れた機体



航続距離の長さが優位性